

**歴史文化保存展示施設専門検討委員会 第1回展示部会
意見要旨《発言順》**

議題(1) 「展示部会の進め方と事例について」	
1 整備方針の展示について	
2 展示部会の進め方・協議内容について	

No.	内容	
1	質問	事例にあった熊本博物館、(仮称)札幌博物館、(仮称)静岡市歴史文化施設の展示面積や学芸員数はどれくらいか。
	回答 (トータルメディア)	後日、調べて回答する。
2	意見	展示テーマとしては、例えば「港と神楽」などに絞る考え方と通史的な多分野を扱う考え方の2つある。学芸員の数を考えると、テーマを絞った方がよいと思う。民具関係は金城資料館に担ってもらうなど考えられる。県立古代出雲歴史博物館の例を見ても民具までは取り扱っていない。 歴史関係の展示手法としては、映像が効果的である。
3	意見	ふるさと学習の経験より、子どもたちは地域の人がどのような暮らしをしてきたかに興味を持っている。このため、地域の生業などが展示テーマになるとよい。昔、漁具の収集でしたが、そのような海・山・平地での暮らしにまつわる展示がよい。その中で、サブテーマとして、神楽や偉人が考えられる。
4	意見	狭い展示室で浜田の全ての歴史を語るのは難しいと思うため、企画展示専門でもいいのではないか。
5	意見	出雲の対比として石見の特色を出したい。そうすれば、県内外の受けも良いと思う。常設展で、石見の中の浜田の特徴を示せれば良いと思う。
6	意見	常設は通史展示が良い。ただ、近世は浜田城資料館が担うなどの住み分けは必要。鉢や港も一つのテーマとして考えられる。

7	意見	出雲と石見の対比でいうと、石見は自然系の文化遺産が多い。出雲は歴史系が多い。自然系を扱うと特色がでるかもしれない。一方、浜田の歴史の特徴としては、政治の中心地であり、それに港が付いていることである。また浜田は、地理的にも石見の中心に位置する。
8	意見	展示手法に関しては、世界子ども美術館に併設ということで子どもがターゲットとして考えられる。今後は特に SNS による情報拡散効果も考える必要がある。
9	意見	常設展示の一隅に石見神楽は必要と思う。石見神楽は、市内はもちろん県内外にも受けがよい。その歴史に関しても研究が進展している。
10	意見	展示手法に関しては、子どもを対象とするなら、映像と体験が重要である。一方的な展示・情報発信は避けるべきである。石見神楽であれば、衣装の試着などの体験も可能である。日脚神代神楽社中の古い大蛇衣装や木彫面などの良い資料もある。
11	意見	石見神楽は必要だと思うが、舞とセットの方がより効果的であり、野外ステージなどの活用も考えられる。展示手法としては、自然系については、迫力ある映像も見込める。
12	総括	本日は様々な事例に触れることによって、展示のイメージを共有することが目的であった。本日の議論にあったことを、今後の議論に活かしてもらいたい。